

教科名	家庭	科目名	服飾文化 (2単位)	選択相手科目	日本史 A 数学 A
使用教科書	服飾文化 (文部科学省)			副教材等	

1 科目のねらい (目標)

服飾の変遷と文化、着装などに関する知識と技術を習得させ、服飾文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育てる。

2 科目・授業の内容と進め方

年間を通して、自分自身と家族のよりよい衣生活を実現していくために必要な知識や技術を学習します。服飾の文化や着装など知識として学習することに加え、服飾に関わる基礎的な技術を身に付け、衣生活を向上させる実践的態度を育てます。

1 服飾の変遷と文化

被服の起源や被服の基本型の代表的なものを取り上げ、着装形式の特徴、気候、風土、文化などの関わりについて学習します。また、洋服と和服の特徴を知り、その変遷について学習します。

2 着装

服飾における流行について、心理的欲求や産業界との関わり、個性の表現と服飾の関わりについて学習します。また、トータルコーディネイトと社会生活上の着装マナーについても学習します。

3 服飾文化の伝承と創造

1と2の学習と関連付け個人またはグループで、適切な課題を設定し学習します。

3 学習の方法

実験や実習が多い科目であり、特に主体的・積極的な学習態度で取り組むことが大切です。また、安全や衛生に十分留意して学習を進めましょう。また、ワークプリントや実習作品の成果、提出期限、実習に取り組む態度や製作過程、仲間とのチームワークなども大切な学習課題です。

4 課題・補習について

- ・プリント、演習課題の点検を毎時間行います。
- ・実習については、作品の成果だけでなく、実習中の態度も大切です。

経営管理科 3年 B・C・D組選択者

教科名	家庭	科目名	服飾文化(2単位)
-----	----	-----	-----------

5 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4 5	第1章 「服飾文化」を学ぶ目的と意義	<ul style="list-style-type: none"> ・「服飾文化」を学ぶ目的と意義を知り、学習方法について知る。 	授業態度 プリント 作品 提出物 前期中間考査 前期期末考査
6 7 8	第2章 日本の服飾の変遷と暮らしの背景 第3章 西洋の服飾の変遷と暮らしの背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の歴史の中での衣服の起源や基本形について理解し、衣服の役割について考える。 ・日本の服飾の移り変わりについて、その時代の社会の状況と関連させて考える。 ・西洋の服飾の移り変わりについて学ぶ。 	
9	ホームプロジェクトの計画、実践、発表	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かし、自分や家族の生活課題解決に向けた個人研究と発表会を実施する。 	
10	第4章 着ること装うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を円滑に維持し、健康で安全に暮らしていくためには、着用目的に合う被服をコーディネートしていく必要性を知る。 	
11 12 1 2	実習作品 第5章 服飾文化の伝統と創造	<ul style="list-style-type: none"> ・日本伝統の技法を使い、作品を仕上げる。 ・生まれてから死ぬまで、また年中行事としての服飾に関わる部分について学ぶ。 ・伝統文化と季節感との関わりを学ぶ。 ・各地域の服飾に関わる伝統工芸を知る。 ・気候風土や宗教などとのバランスをとりながら、着装してきた民族衣装について知る。 ・1年間の学習内容を振り返り、自分自身と家族のよりよい衣生活を実現していくための考えをまとめる。 	
	学習のまとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果を再確認する。 	学年末考査